

2018年12月20日

**Temporary and Enlarged Meeting of Asian Dragon Boat Federation  
Executive committee Minutes (23<sup>rd</sup>)**

**第23回 ADBF 常任理事会議事録**

1) 開催日

2018年11月16日、19:00~22:00

中国・広州、Foshan KangNian Garden Hotel にて開催

2) 出席者

- Honorary Vice President : Benjamin Ramon Jr. (フィリピン)
- Vice President : Aki Chen (中華台北)  
Than Toe (ミャンマー)  
Chun Hon Kun (マカオ)
- Secretary General (事務局長) : Yu Han Qiao (中国)
- Executive Members (常務理事) : Makoto Shobu (日本)  
Peter Tang (マカオ)  
Chung Chi Lok (香港)  
Chang Chao Hung (中華台北)
- Secretariats (事務局) : Li Han Jie (中国)、Yang Xi (中国・通訳)
- Absence (欠席) : Fan Guang Sheng (中国・ADBF 会長)  
Edy Suyono (インドネシア)  
Yang Shu Gang (中国)  
Mohammadreza Dorkhah (イラン)  
Guo Meng Xing (マレーシア)
- Non-voting delegates (投票権無き出席者)  
: Dick Lim (マレーシア)  
Kim Eonsik (韓国)、Choi Gabin (韓国)  
Gordon Choi (シンガポール)、Regi. K. S (インド)  
Taher Ahmed (インド)、Cindy Tsui (香港)  
Anup Kumar Choudhury (インド)
- 司会 : Yu Han Qiao (ADBF 事務局長)
- 書記 : Li Han Jie (ADBF 事務局)

### 3. 討議事項

#### 3.1) Welcome speech

ADBF 会長に代わり、ADBF 事務局長の Yu Han Qiao が挨拶

#### 3.2) 出席者

14 名が出席する予定だったが、5 名が欠席、9 名が出席。7 名がオブザーバーとして出席。

#### 3.3) 討議事項

2020 年に香港で開催予定の「第 14 回アジアドラゴンボート選手権大会」について。

##### 1. 開催時期について

台風到来時期や、他大会との整合性を考慮し、討議の結果、開催時期については 2020 年 11 月と決定。

(香港、日本、フィリピン、ミャンマー、インド、中華台北、マカオ、シンガポールの 8 カ国が賛成)

##### 2. 競技種目について

スタンダードボート：オープン、女子、混合、200m、500m、2000m 周回レース。

スモールボート：オープン、女子、混合、100m、200m、500m

##### 3. Youth group について

当初、香港は 24 歳以下の種目 (U24) を企画していたが、討議の結果参加チームが少ないであろうこと、競技種目が多すぎると運営に支障が出る等の理由から、この種目は開催しないことを決定。

##### 4. 2019 年 8 月 20 日～25 日、タイのパタヤで開催予定の「第 14 回世界ドラゴンボート選手権大会」について。

アジアで開催される世界選手権大会なので、ADBF として最大限のサポートをすることで一致。

##### 5. 2020 年、中国で開催される「Asian Beach Games」について。

この大会は 2020 年 9 月に中国で開催されることになっている。アジアオリンピック評議会 (Asian Olympic Council) メンバーの一員として、ADBF のメンバー国はそれぞれの国のオリンピック委員会と十分な接触を持ち、Asian Beach Games へ派遣してもらえるように交渉を進めるようにして欲しい。

6. 2022年に中国で開催予定の「第19回アジア競技大会(19<sup>th</sup> Asian Games)」について。

- ・アジアオリンピック委員会(Asian Olympic Committee)によって、中国でアジア競技大会が開催されることが決定した。開催地は Wenzhou, Zhejiang Province(中国・浙江省・温州市)で、ドラゴンボート競技に関しては ADBF の権限で開催することになっている。開催に関する青写真はすでに完成していて、一億円の予算が計上されている。ドラゴンボート競技施設は 1200メートルで、1000mが必要という IDBF 基準を満たしている。また、水質も管理され、深さは 3.5~4メートル、6レーンでレーン幅は 100~120メートル、すでに 2018年 11月にドラゴンボート競技用の工事が始まっている。

- ・レース数は 18 レースとしてオリンピック組織委員会に提出してある。しかし、最終的にはレース数、また競技人数に制限が加えられる可能性もある。各国のドラゴンボート協会では、自国のオリンピック委員会と密接な接触を持ち、競技に参加できるように働きかけて欲しい。

- ・各国のドラゴンボート協会では、それぞれの問題を抱えていると思われるが、ADBF は最大限のサポートを約束する。

7. ADBF 内の各コミッティの責任者を決定する。

ADBF 規定では、ADBF 内の各コミッティ (Competition Committee, Technical Committee, Promotion and Development committee, Equipment Committee, Youth Committee) の責任者は常務理事 (Executive Committee member) から選任され担当することになっている。そして、それぞれのコミッティのスタッフは選任された責任者が推薦出来る。ADBF 加盟国は、常務理事の中から誰をどのコミッティの責任者に推薦するかを 2019年 2月 1日までに ADBF 事務局まで提出して欲しい。ADBF 事務局ではそれらの推薦リストを整理してまとめることにする。

8. ADBF のルール改定については、特別なリクエスト、指摘はなかったので現状のままとする。ADBF ルールは IDBF ルールに準じるものとする。

9. 新規メンバー加盟申請

ADBF に対する新規加盟の申請はなかったが、IDBF に対してはアジア地区からバーレーン、パキスタン、カンボジアが加盟を申請している。ADBF としてはこれらの国々に対して必要なサポートを行う。

## 10. その他

1. メンバー国から ADBF メンバーシップ会費の支払い方法についての質問がなされた（日本）。ADBF は銀行口座を開設できないので、総会時に現金で会費を支払って欲しい旨、ADBF 事務局より案内があった。
2. 偽組織（ADBF を名乗る偽りの組織）から ADBF の事務局を名乗ってメールが配信される事件があった。ADBF 事務局のメールは以下の通りなので、留意するように。

[adbfdragon@126.com](mailto:adbfdragon@126.com)

Contact: Li Han Jie

以上

翻訳・文責

菖蒲 誠